

人権の大切さを見つめ直そう

12月4日～10日 人権週間

いのち・愛・人権

戦争と人権

校舎から這い出たあたりは未だ暗く、何が何だか判らなかつた。空を見上げると、太陽が大きな満月の様に見えた。以前見たSF映画の、地球が大きな星と衝突して滅亡するシーンを思い出して、天体に異変が起こったのかとさえ思った。...

誰もが一緒に、身につけていた着物がちぎれ、顔は薄黒く腫れ、目がつぶれ、両手の先には破れた皮膚が垂れ下がっていた。そして男子の頭は、かぶっていた帽子のかげの部分を残し、髪の毛が剃り落とされたように見えた。女子の髪は灰色に汚れ、乱れ、一部は前に垂れ下がっていた。とてもこの世のものとは思えない情景だった。顔や姿を見ただけでは、誰が誰だかはつきりせず、親友でさえも声を聞いてはじめて判る程だった。...

—「寄田幸さん」のホームページ（核のない平和な21世紀を—）から抜粋—

「核の恐怖は体験した者でしかわからない。あの日を再び繰り返してはならない。平和のために命ある限り語り続けること、それが私たちの使命。あの悲惨な出来事を風化させてはならない。」— 一昨年、71歳で逝去された寄田さんをはじめ、終戦後60年を経た今日も、広島で、長崎で、風化しようとする人々の意識と闘い続ける語り部たちの活動が続いています。

いろいろな権利の中で最も尊重されなければならぬはずの「生きる権利」を奪ってしまふ戦争、それは最大の人権侵害です。過去への深い反省と再び繰り返してはならないという強

い決意をもって、「世界人権宣言」が採択されたのは、第二次世界大戦が終わった3年後の1948年12月10日、第3回国際連合の総会でのことでした。これを記念して、世界の国々では12月10日を「ヒューマンライツデー（人権の日）」と定め、各種の啓発活動が行われています。日本でも12月10日の前の1週間を「人権週間」とし、人権の大切さを見つめ直す取り組みが進められています。

「世界人権宣言」って？

世界人権宣言は、世界中の国々と人々が守るべき共通の基準として採択されました。その前文は「人類すべての構成員は固有の尊厳と平等で譲

ことのできない権利」を承認することから始まっています。法的拘束力はなくても、この宣言が国連で採択されてから、多くの国々のたくさんの人々が、その内容の大切さに気づき、宣言の内容に基づく国際的な法律が数多く作られました。今では、27の国際条約が国連で採択されています。

これに合わせ鳥取市でも1987年、人権尊重都市宣言を行い、世界人権宣言推進鳥取市実行委員会が組織され、人権週間を中心に各種の取り組みを

世界人権宣言

30条からなる条文のいくつかを紹介します。

第1条「みんな仲間だ」
すべての人は、自由に、そして尊厳と権利について平等に生まれている。人は、理性と良心を授けられており、互いにきょうだいの精神をもって行動しなければならぬ。

第6条「みんな人権をもっている」
人は皆、法の前では、どのような場においても、一人の人として認められる。

人権週間フォーラム

と き 12月4日(日)
午前10時～午後5時50分

ところ 県民文化会館小ホール

内容 10:00 開場
10:20 映画「コーラス」上映
13:00 人権標語・ポスターコンテスト表彰式 ほか
14:00 人権作文朗読会
14:30 手話コーラス
14:50 有田芳生さん(フリージャーナリスト)トークショー
16:00 映画「父と暮らせば」上映
17:50 閉会



※同時開催
パネル展(展示室、フリースペース)
鳥取地方法務局による登記人権問題などの相談(展示室)

人権講演会

と き 12月6日(火)
午後1時30分～3時

ところ 市解放センター 3階大ホール

内容 「人は心で生きるのだから」
～語りと音楽で人権を綴ります～
ギターラ・トルバールのみなさん
(生涯学習開発財団「ライフラーニング」メンバー)



■問い合わせ先
市役所本庁舎人権推進課 ☎(0857) 20-3224